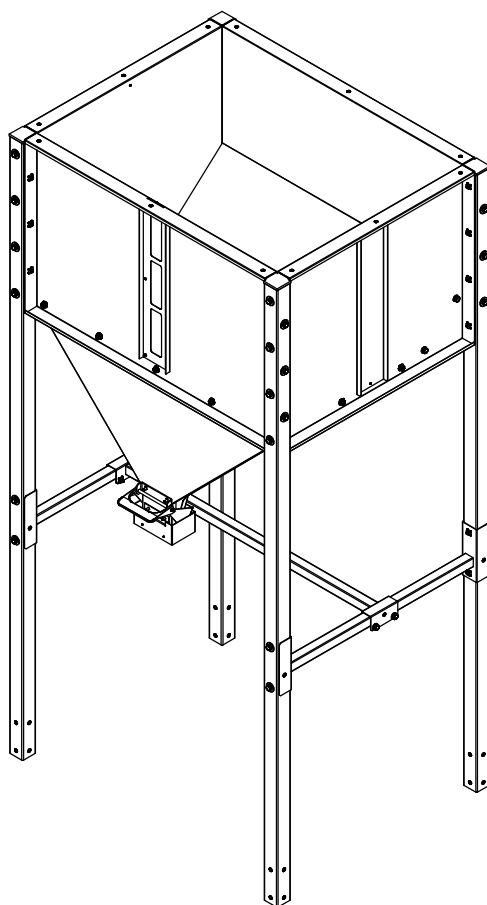


取扱説明書

IRINO

中継タンク
タンクスケール
TS330A



正しく安全に効率良い作業をしていただくために、ぜひ心掛けていただきたいことを述べていますので、ご使用前に必ずお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後は必ず製品に近接して保存してください。

「中継タンク」をお買い上げいただき ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は「中継タンク」の取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになった後も **必ず製品に近接して保存** してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡ししてください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げいただいた販売店にご注文してください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を予告無く行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気づきのことがございましたら、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
-  印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目です。必ずお守りください。
 -  **危険** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
 -  **警告** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
 -  **注意** その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。
- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」 を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

もくじ

はじめに	1
もくじ	2
安全に作業をするために	3
サービスと保証について	4
仕様	5
本製品の使用目的について 各部の名前	6
安全銘板の貼り付け位置	7
お使いになる前に	
1) 部品名及び明細	8
2) 組立 ホッパーと本体増枠の取付	9
脚の取付	1 0
中脚、脚の取付	1 1
オプション延長脚を使用する場合の取付	1 2
立て起こし	1 3
配線方法 (N S 3 5 K 秤を使用する場合)	1 4
オプション部品の取付	1 5
作業のしかた	
1) 使用例	1 6
2) 計量の仕方	1 7
落差修正方法	1 8
作業後のお手入れについて	1 9
不調診断	2 0

安全に作業をするために

ここに記載されている注意事項を守らないと、
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

●一般的な注意項目



警告

●疲労、病気、薬物の影響、その他の理由により、
作業に集中できない。

●お酒を飲んだとき

●妊娠しているとき

●18才未満の人

「守らないと」

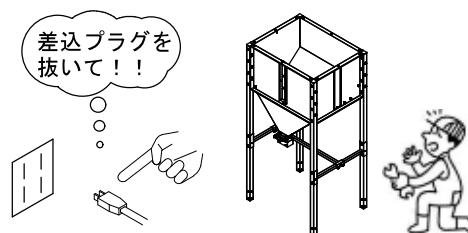
思わぬ事故の原因になります。



警告

点検・整備には必ず電源を「OFF」にし
差し込みプラグを抜く

点検・整備は、必ず電源を「OFF」にし
差し込みプラグを抜いてから行ってください。

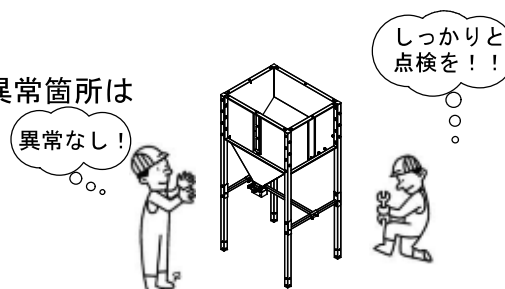


注意

必ず作業前の点検をする

本機を使用する前に必ず作業前の点検を行い、異常箇所は
直ちに整備してから作業を始めてください。

また、作業終了時も点検を行って異常がないか
チェックしてください。



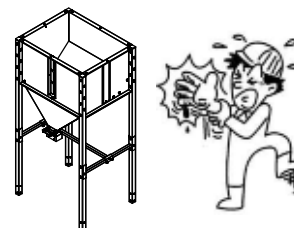
注意

カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで外したアングル、カバーなどは
必ず取り付けてください。

「取り付けないと」

倒壊や傷害事故を招く恐れがあります。



サービスと保証について

保証書について

「保証書」はお客さまが保証修理を受けられる際に必要となるものです。
お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスについて

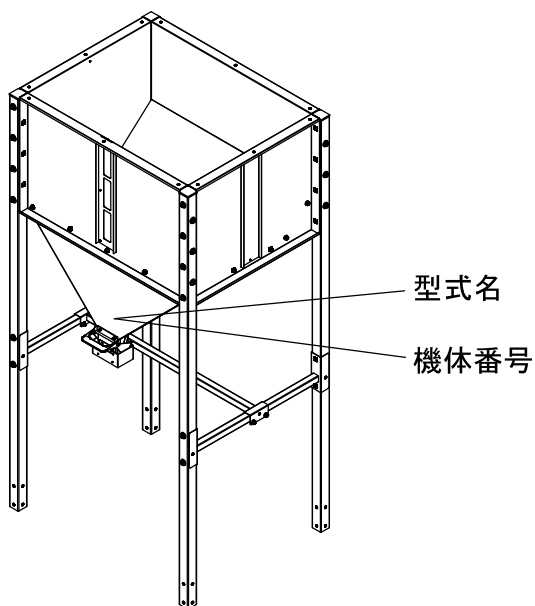
機械の調子が悪いときは20ページの「不調診断」に従って点検、処置し
なお不具合があるときには、下記の点を明確にしてお買い上げいただいた販売店までご連絡してください。

<連絡していただきたい内容>

- 型式名と製造番号
- ご使用状況は？
- どのくらい使用されましたか？
(約□□時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況を
できるだけ詳しく教えてください。

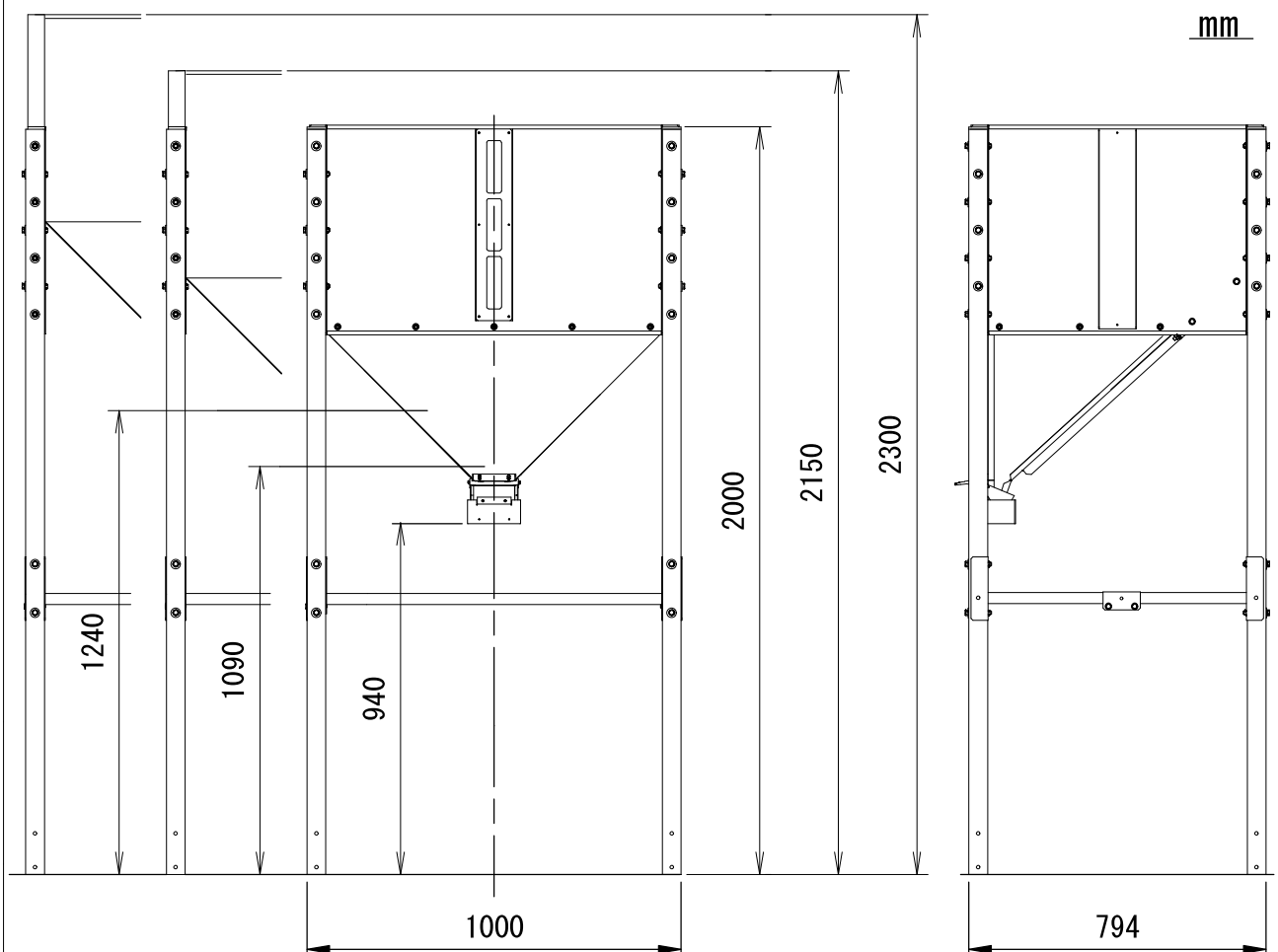
補修部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限（期間）は製造打切後8年です。
ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても部品供給の要請があった場合には納期および価格についてご相談させていただきます。



仕 様

品 名	中継タンク
型 式 名	T S 3 3 0 A
機体寸法 (mm)	奥行 × 幅 × 全高 (3段階調整)
	794 × 1000 × 2000-2150-2300
出口高さ (mm)	940-1090-1240
本体重量	55kg
タンク容量	330kg (玄米)
シャッター能力	玄米30kg袋の場合 90袋/時間
オプション	30kg秤、袋ホルダー、増枠 (300mm, 玄米150kg増)、延長脚 (1010mm)
	天板 (φ150穴)、手動シャッター、移動車輪、小袋計量キット



* 延長脚を使用すると全高、出口高さは+1010mmになります。

本製品の使用目的について

本製品は乾燥粳, 玄米, 麦の中継タンク、30kg計量機としてご使用ください。

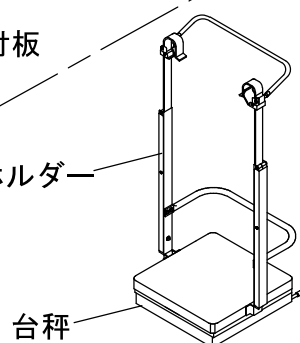
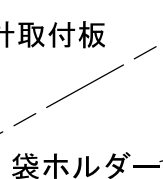
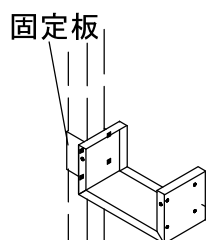
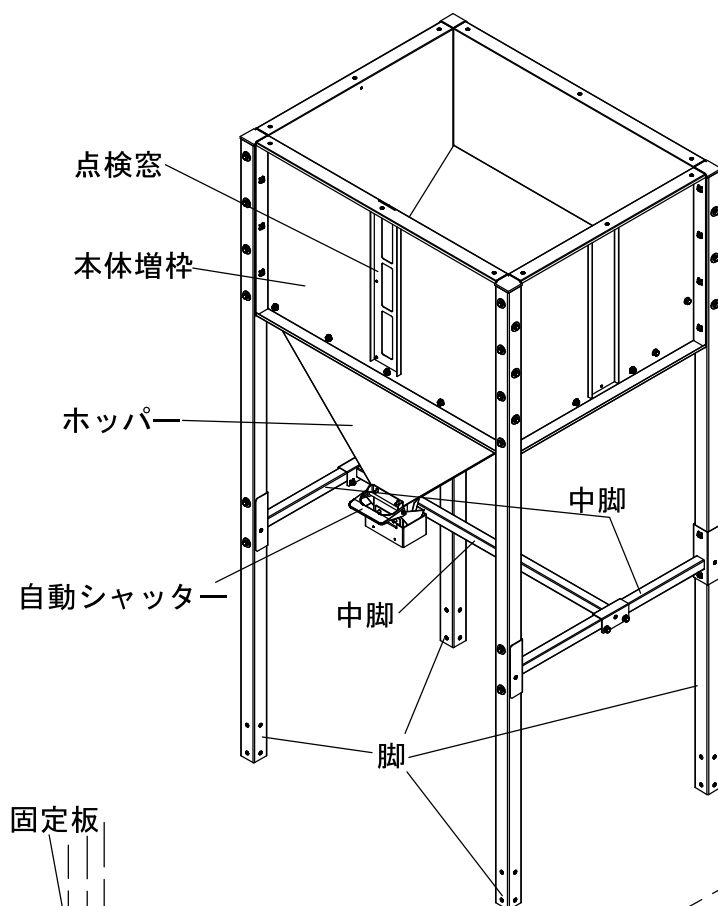
使用目的以外の作業や改造などは決してしないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。

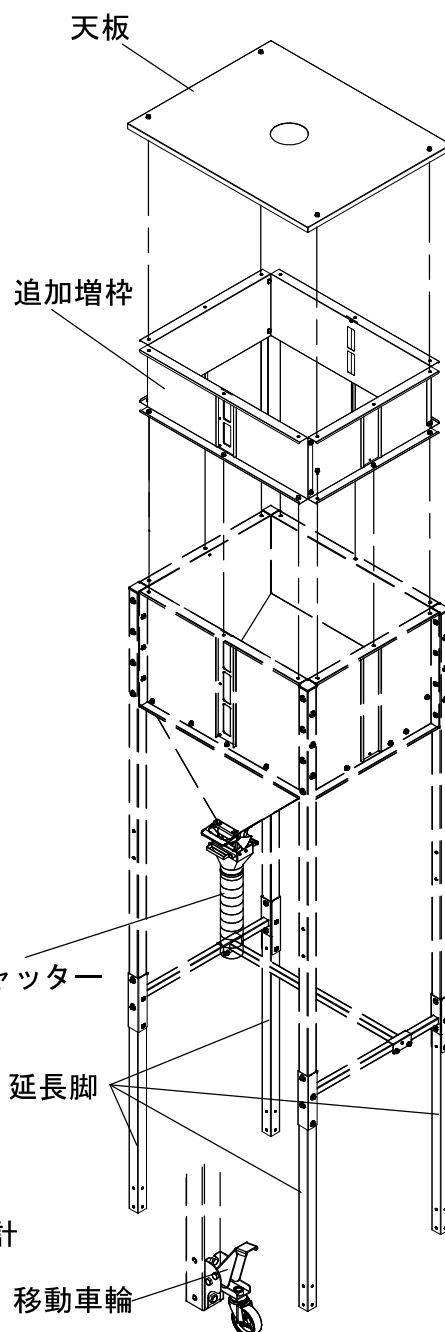
(詳細は、保証書をご覧ください。)

各部の名前

タンク基本セット



オプション



安全銘板の貼り付け位置

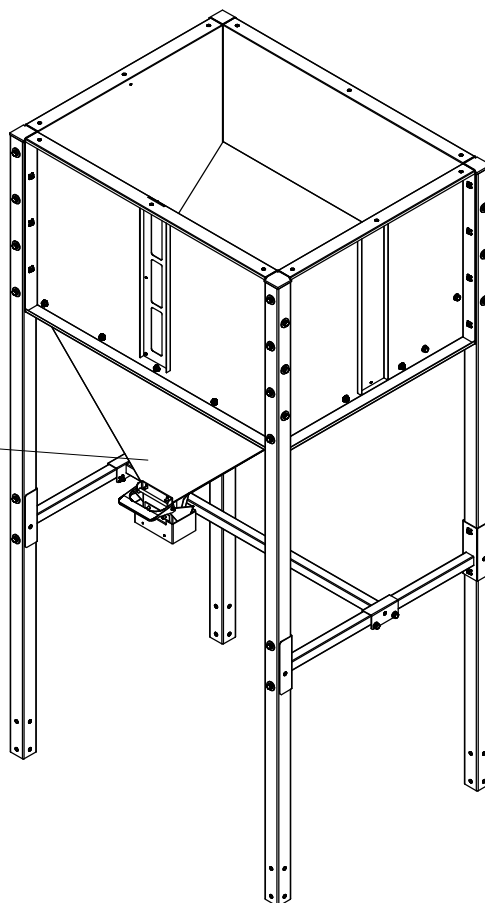
安全に作業していただくために安全銘板の位置を示したものです。安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。

▲ 注意


取扱説明書をよく読んで安全に作業してください。

- 電源を入れるときは周囲の人がケガをしないように合図をし安全の確認をしてください。
- 作業を中断したり終了するときはかならずスイッチを切り差込プラグを抜いてください。

S900-009A

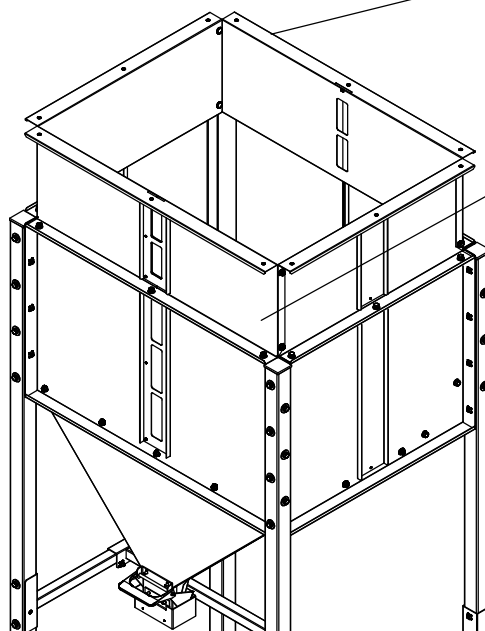


▲ 注意


転落防止

高所での点検・掃除などをするときは、「ハシゴ」で足元をかためて行ってください。
守らないと転落してケガをするおそれがあります。

S900-025



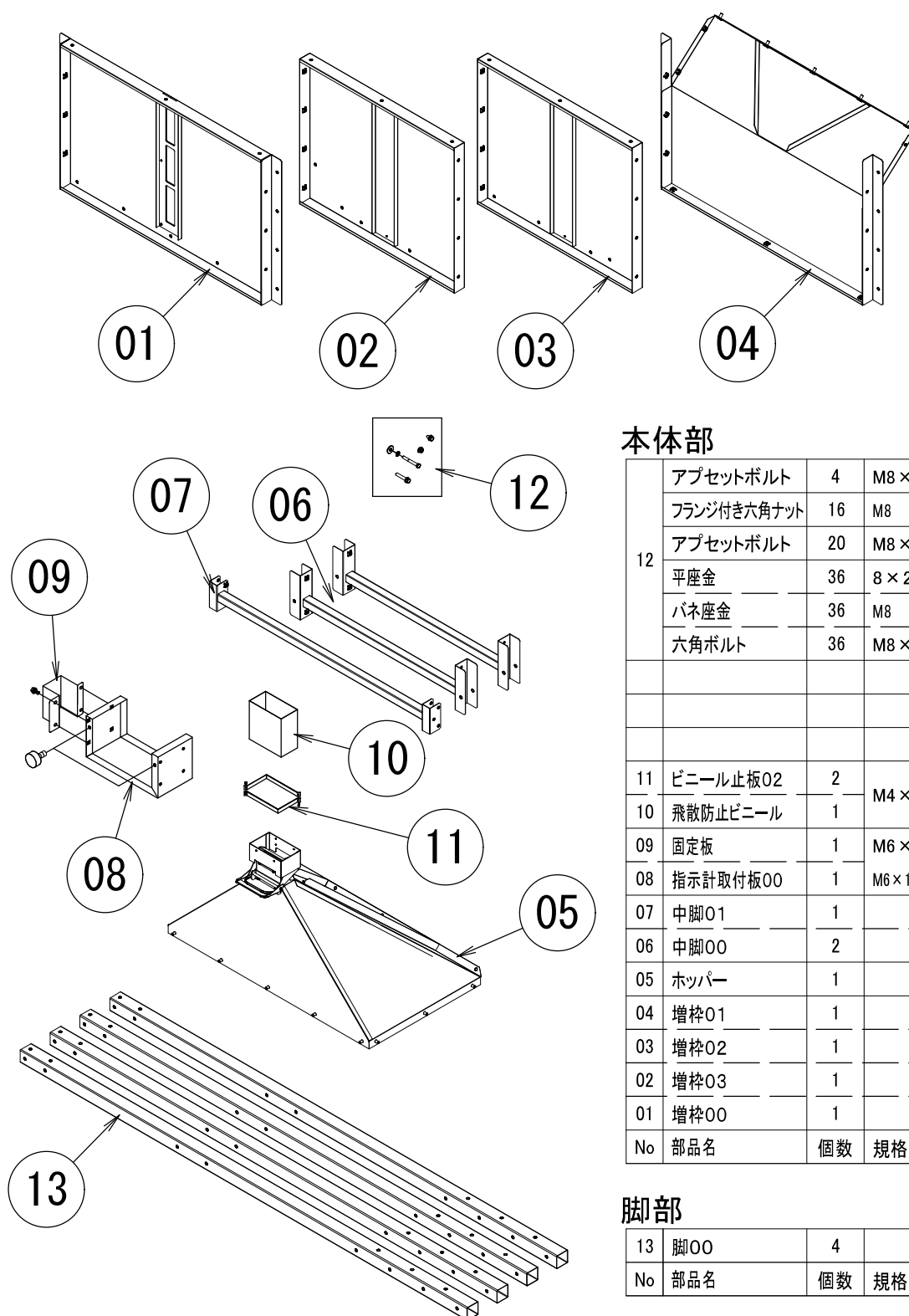
お使いになる前に

(1) 部品名及び明細

* 組立前に梱包内容を確認してください。

梱包は本体部、脚部に分かります(仕様により梱包数、内容が異なります)。

オプション部品に関しては別途同梱されている取扱説明書を参照してください。



本体部

12	アプセットボルト	4	M8 × 50 P3
	フランジ付き六角ナット	16	M8
	アプセットボルト	20	M8 × 16 P3
	平座金	36	8 × 26 × 2.3
	バネ座金	36	M8
	六角ボルト	36	M8 × 65 S=25
11	ビニール止板02	2	M4 × 8 P2
10	飛散防止ビニール	1	
09	固定板	1	M6 × 16 P3
08	指示計取付板00	1	M6 × 10 ユリヤネジ
07	中脚01	1	
06	中脚00	2	
05	ホツパー	1	
04	増枠01	1	
03	増枠02	1	
02	増枠03	1	
01	増枠00	1	
No	部品名	個数	規格

脚部

13	脚00	4	
No	部品名	個数	規格

お使いになる前に

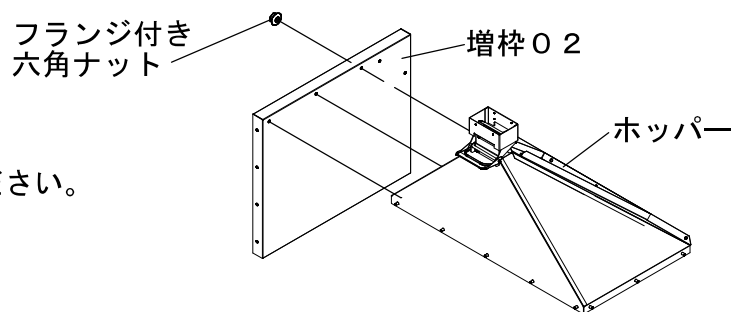
 **注意** タンクを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して
落下、転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

(2) 組立 ホッパーと本体増枠の取付

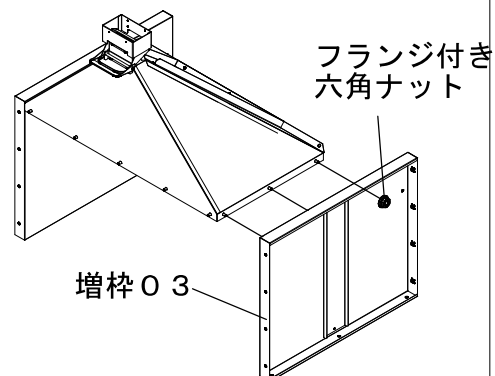
●各部をボルト、ナット類で取り付けてください。

→全ての部品が組み終わるまでボルト、ナット類は仮締めで作業を行ってください。

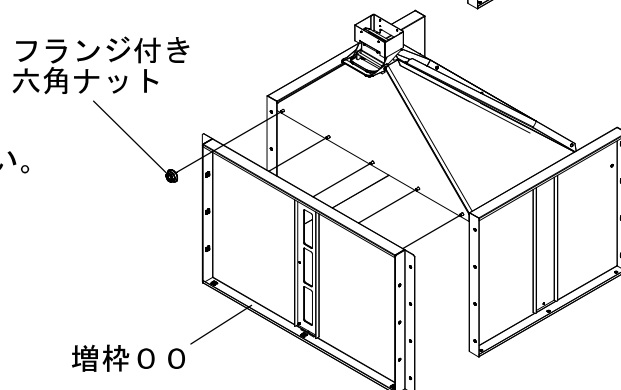
1) ホッパーと増枠02を固定してください。



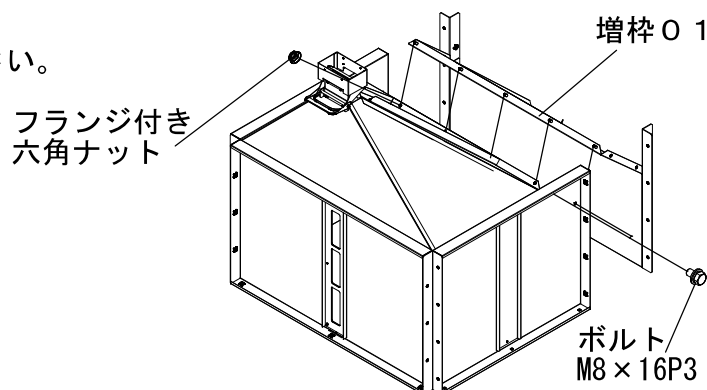
2) ホッパーと増枠03を固定してください。



3) ホッパーと増枠00を固定してください。



4) ホッパーと増枠01を固定してください。

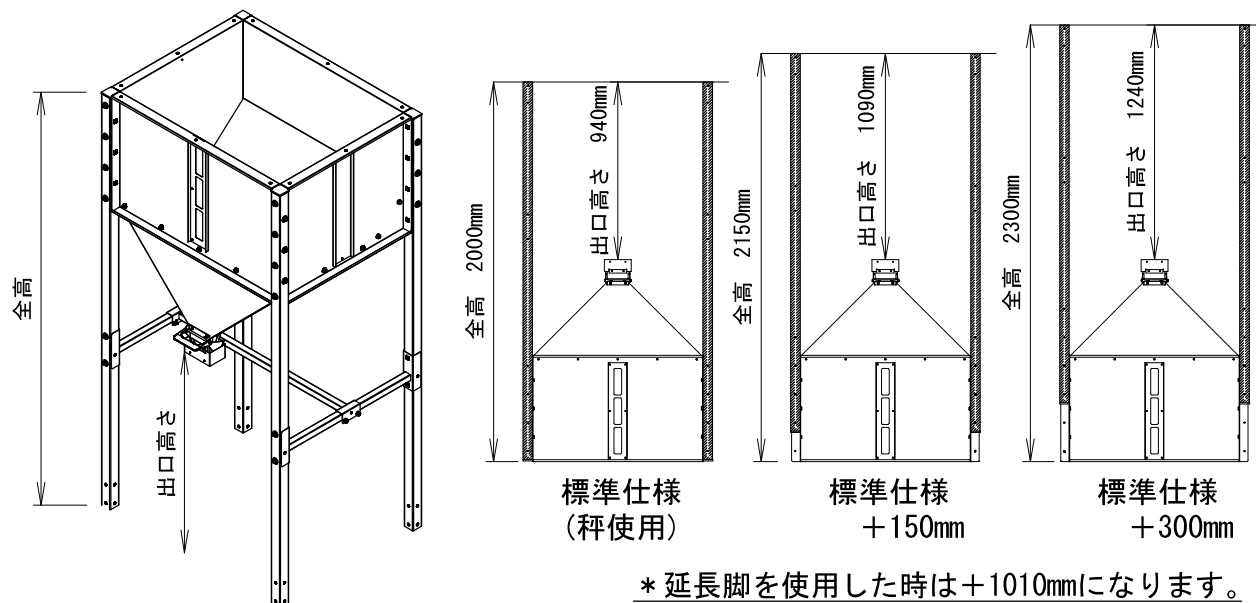


お使いになる前に

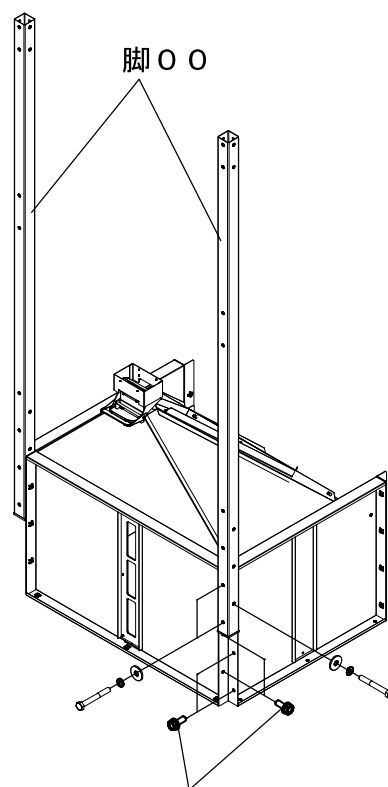
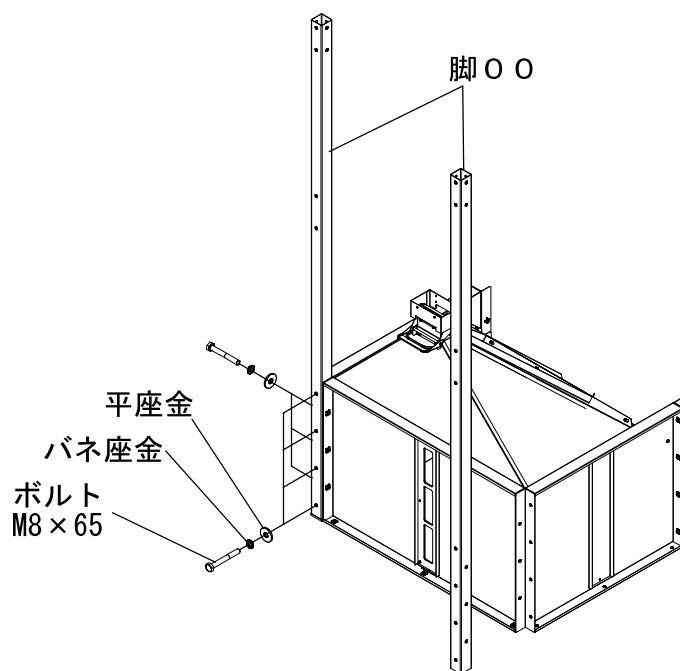
 **注意** タンクを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して落下、転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

(2) 組立 脚の取付

●脚の取付位置によりタンク全高、出口高さを変更することができます。
→下記を参照し脚の取付位置を決めてください。



1) 脚〇〇を固定してください。
→脚は4本同様の固定方法になります。



ボルトM8×16P3
→標準仕様以外は上記ボルトを使用してください。

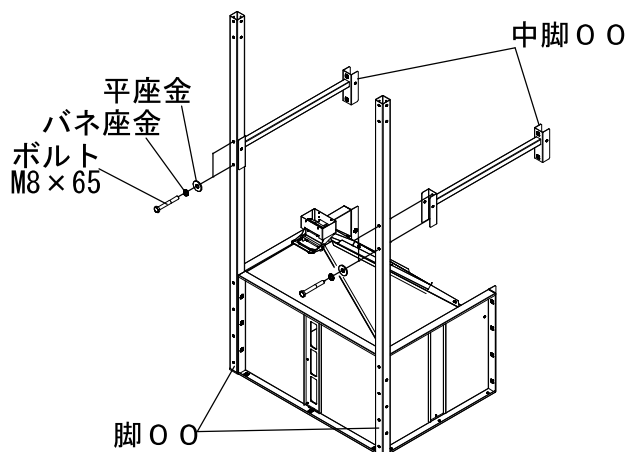
* 延長脚を使用する場合はP12を参照してください。

お使いになる前に

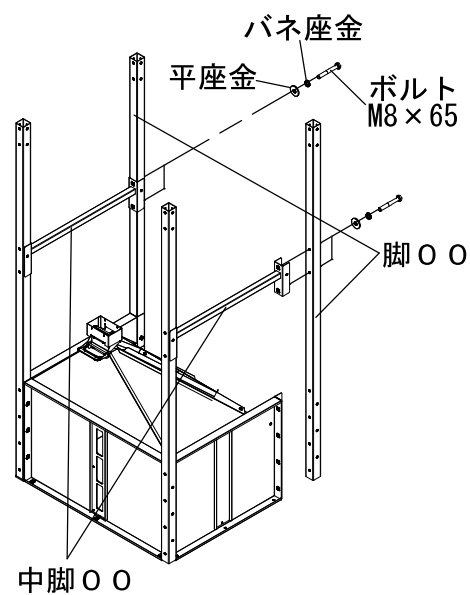
 **注意** タンクを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して
落下、転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

(2) 組立 中脚、脚の取付 *延長脚を使用する場合はP 12を参照してください

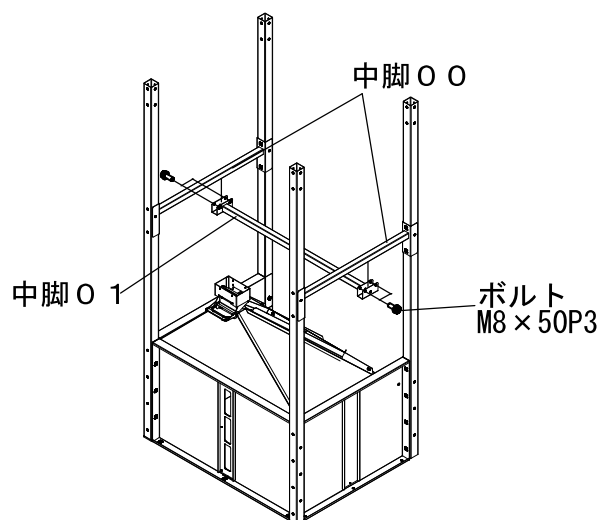
1) 脚〇〇に中脚〇〇を固定してください。



2) 中脚〇〇に脚〇〇を固定してください。



3) 中脚〇〇に中脚〇1を固定してください。

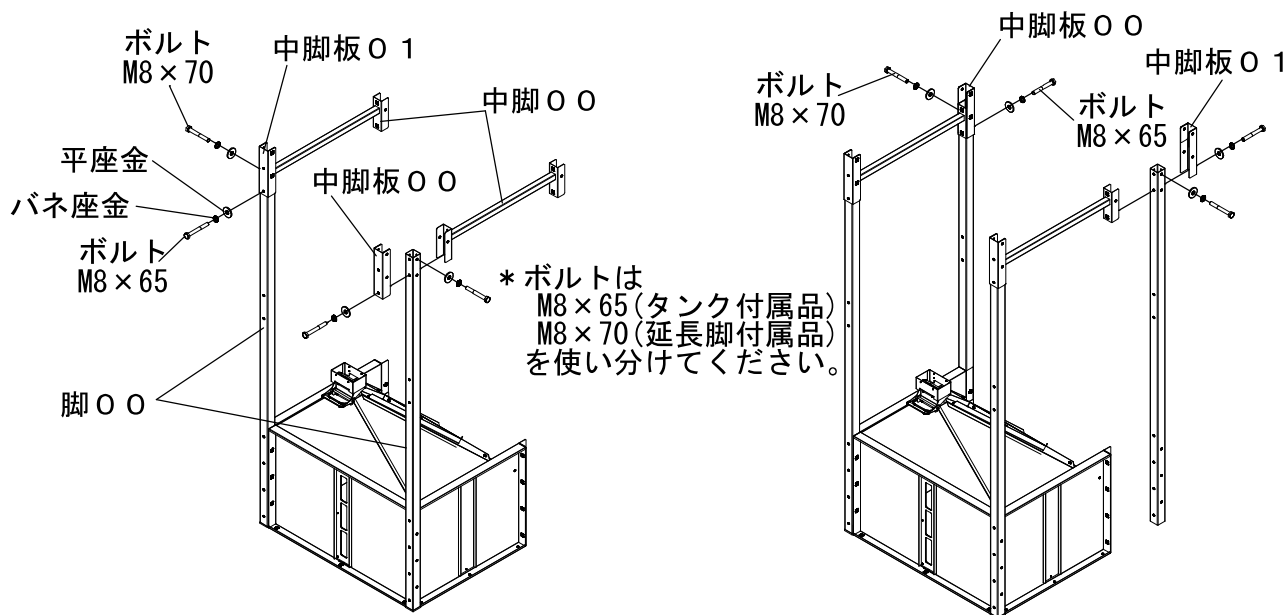


お使いになる前に

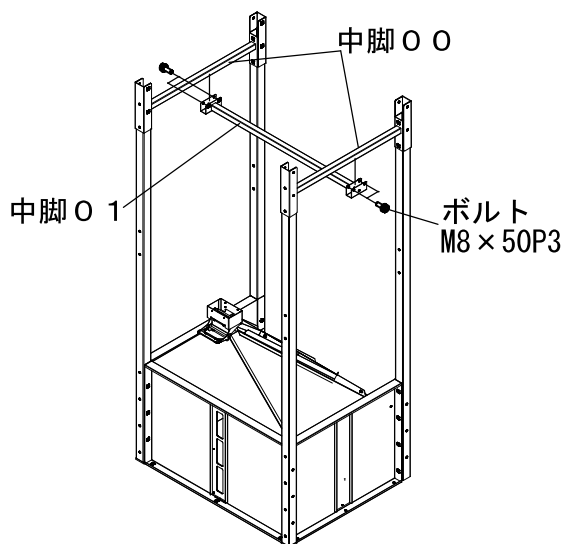
 **注意** タンクを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して
落下、転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

(2) 組立 オプション延長脚を使用する場合の取付

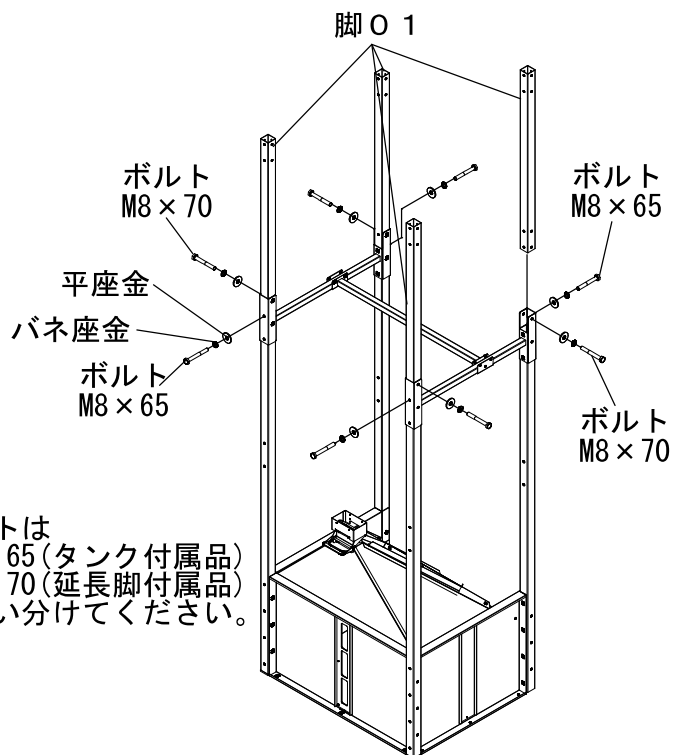
1) 中脚〇〇と中脚板〇〇/〇1を使用して脚〇〇に固定してください。



2) 中脚〇〇に中脚〇1を固定してください。



3) 脚〇1を固定してください。



延長脚

06	平座金	8	8 × 16 × 1.6
05	バネ座金	8	M8
04	六角ボルト	8	M8 × 70 S=25
03	中脚板〇1	2	
02	中脚板〇〇	2	
01	脚〇1	4	延長脚1010mm
No	部品名	個数	規格

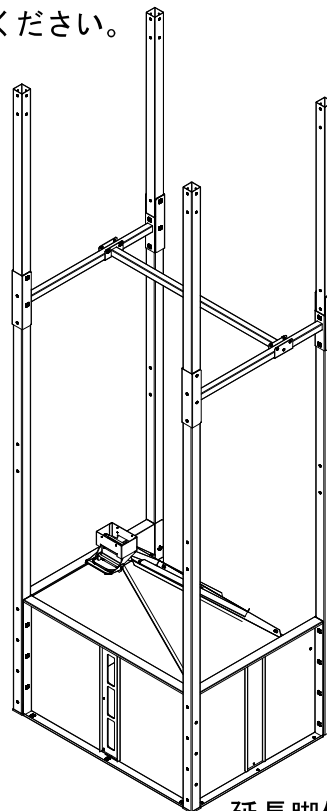
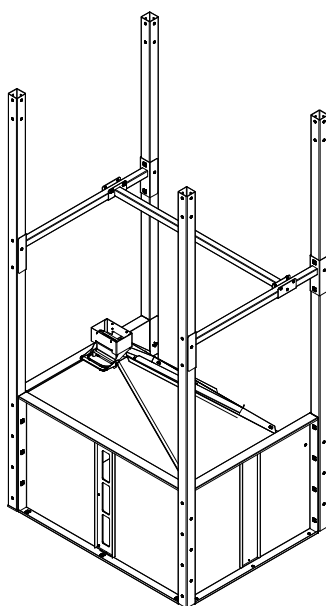
* ボルトは
M8x65 (タンク付属品)
M8x70 (延長脚付属品)
を使い分けてください。

お使いになる前に

 **注意** タンクを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して
落下、転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

(2) 組立 立て起こし

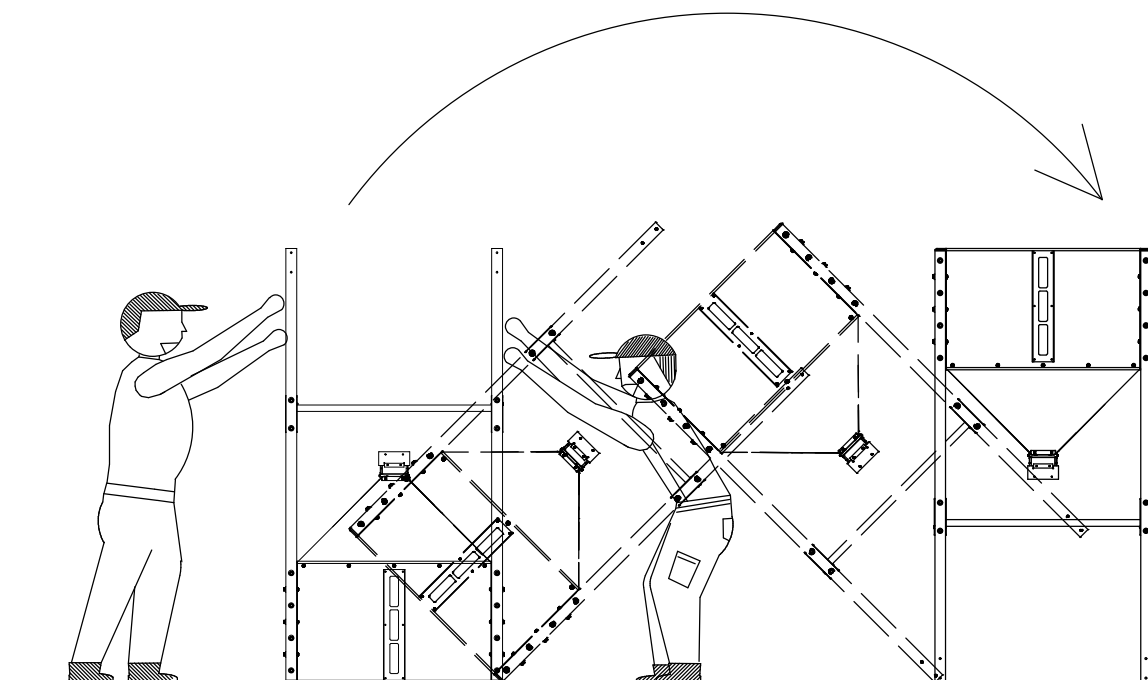
1) 組み上がったタンク各部のボルト、ナット類を本締めしてください。



延長脚使用時

2) 組み上がったタンクを立て起こしてください。

* タンクを立て起こす時は必ず複数人で作業を行ってください。

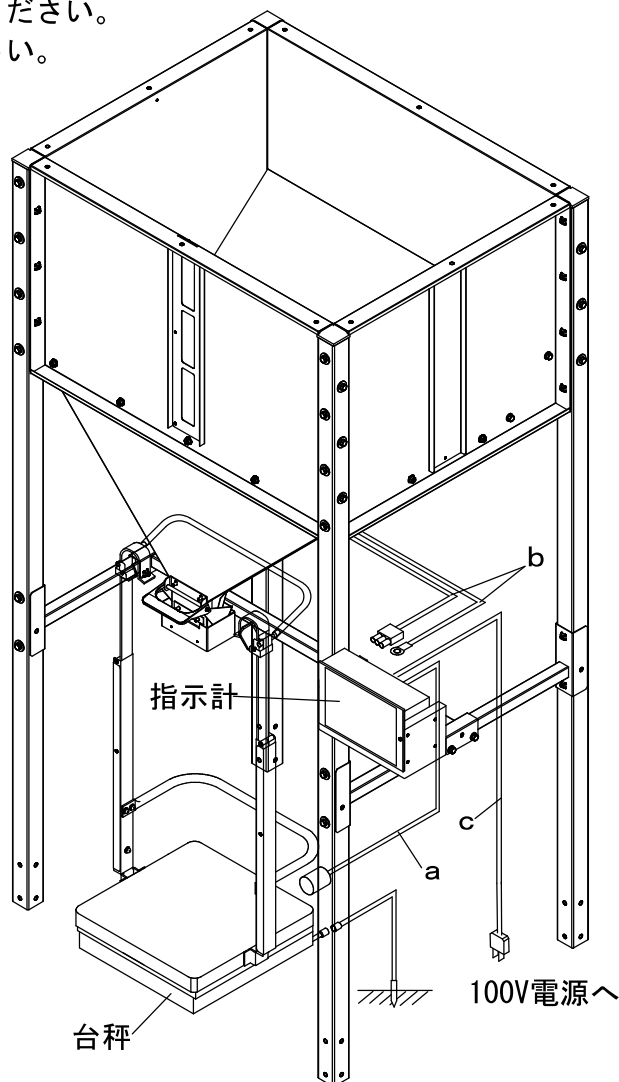
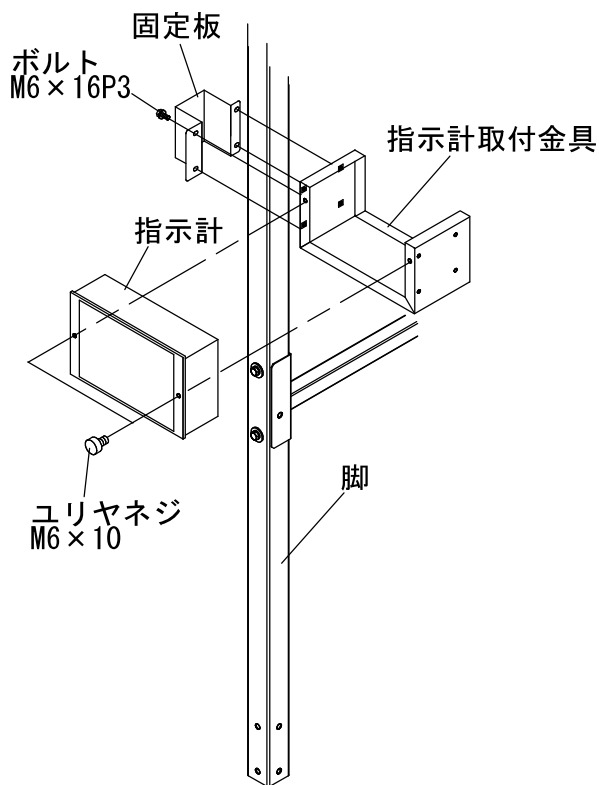


お使いになる前に

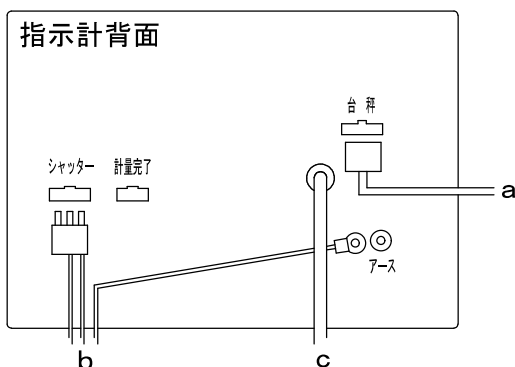
 **注意** タンクを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して落下、転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

(2) 組立 配線方法 (N S 3 5 K 秤を使用する場合)

- 1) 指示計取付金具と固定板を脚に取り付けてください。
- 2) 指示計を指示計固定金具に取り付けてください。



- 3) 指示計と台秤の各種配線をしてください。



 **注意** 長いコードを使用すると電圧降下が発生し過負荷や誤動作の原因となります。やむをえずコードリールを使用するときは、コードを巻いたままにしないで全部伸ばして使用してください。

お使いになる前に



注意 タンクを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して
落下、転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

(2) 組立 オプション部品の取付

天板

02	アプセットボルト	4	M8×16 P3
01	天板	1	
No	部品名	個数	規格

天板

1) 増枠の上に天板を載せてボルトで固定してください。

増枠

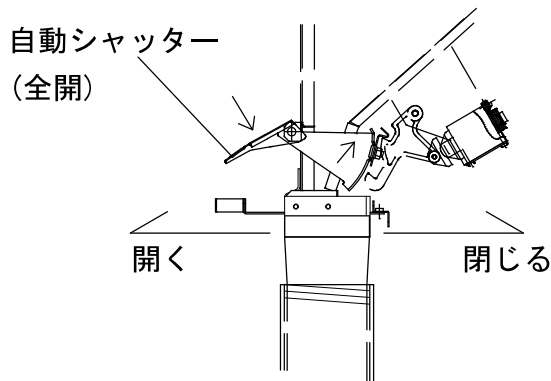
04	フランジ付き六角ナット	8	M8
03	アプセットボルト	12	M8×16 P3
02	増枠11	2	
01	増枠10	2	
No	部品名	個数	規格

増枠

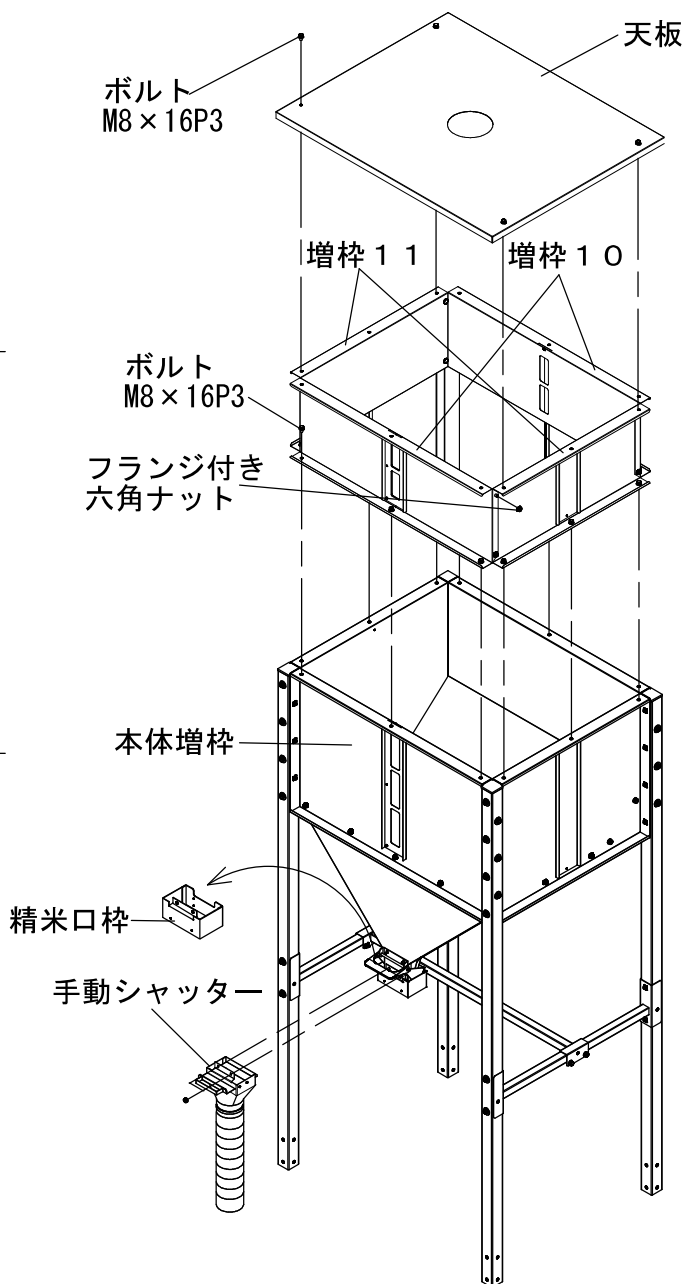
- 1) 本体増枠の上に増枠10/11を載せてボルトで固定してください。
- 2) 増枠10、増枠11同士をナットで固定してください。

手動シャッター

- 1) 精米口枠を外して手動シャッターを取り付けてください。
→自動シャッターを常に全開の状態で使用してください。



* 手動シャッターを取り付けると自動シャッターの機能や秤を使用した計量は出来ません。



手動シャッター

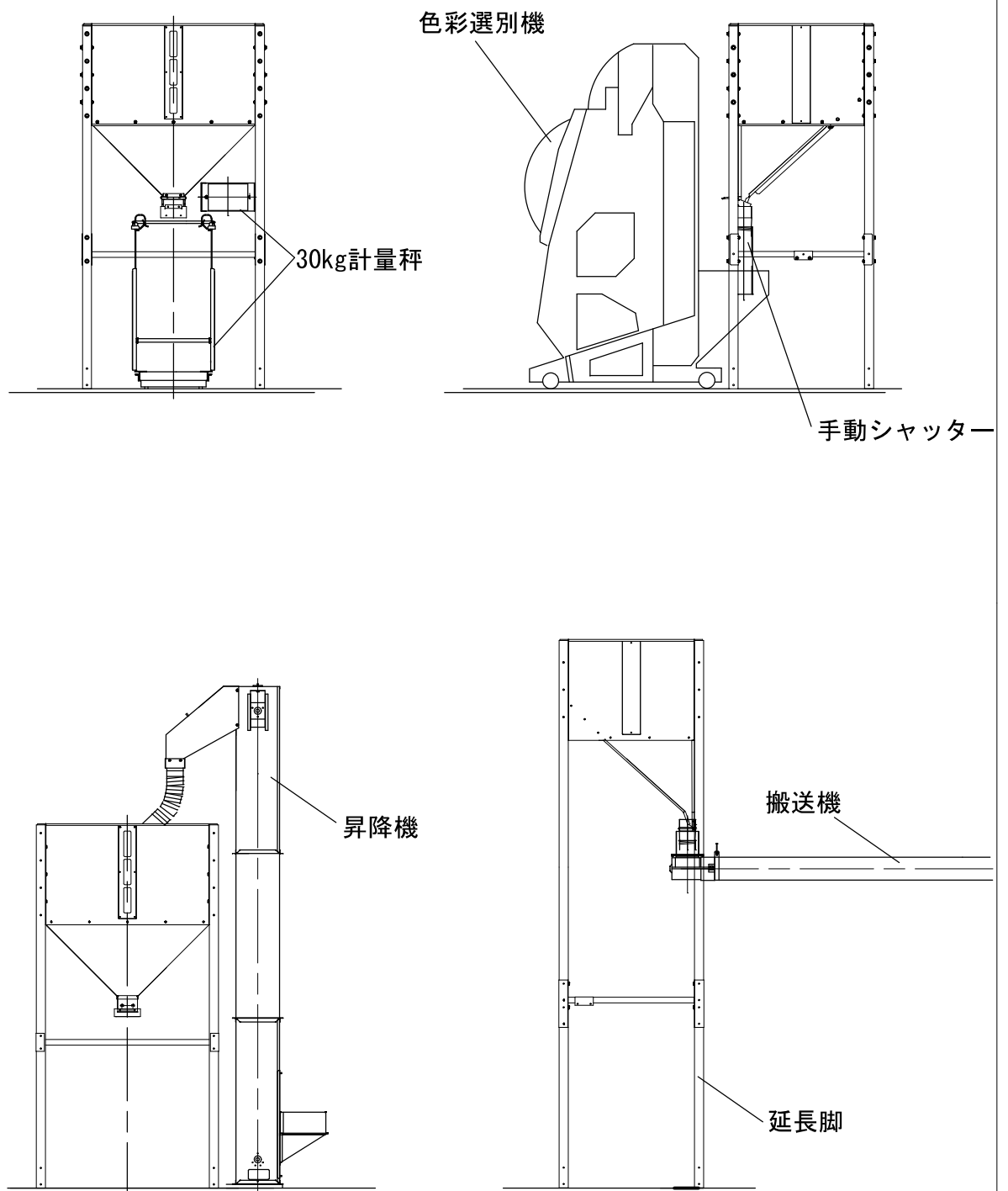
01	手動シャッター	1	
No	部品名	個数	規格

[illegible]

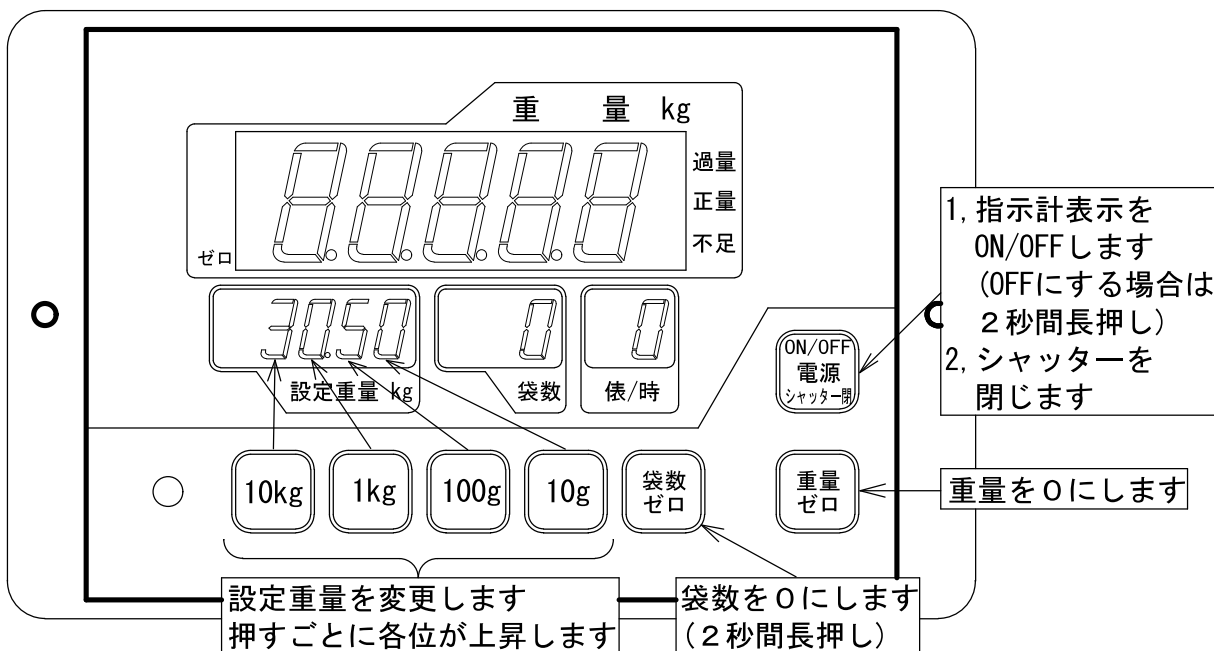
作業のしかた

1) 使用例

- 色彩選別機や昇降機、30kg計量機と接続することにより幅広い作業を可能とします。



指示計詳細



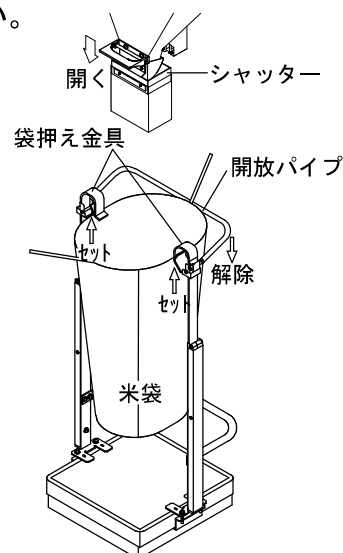
2) 計量の仕方 (袋ホルダーを使用の場合)

- ① **ON/OFF 電源 シャッター開** キーを押して指示計を表示させます。
- ② 重量表示が「0」になっているのを確認して袋ホルダーに米袋をセットしてください。
→ 0 でない場合は **重量ゼロ** キーを押して重量表示を 0 にして米袋をセットしてください。
- ③ シャッターを開くと計量が始まります。
- ④ 設定重量の 1 kg 手前で 1 段目シャッターが作動、さらに設定重量でシャッターが閉じ計量が完了します。
ブザー (正量 — — — — — ピッピッピッ (断続音)
過量、不足 ————— ピ———— (連続音))
- ⑤ 袋ホルダーから米袋を外し、台秤から米袋を降ろしてください。

ブザー音量変更方法

- ① 指示計表示が OFF の状態で
- ② **1kg** キーを長押し → 重量表示に **bu** と表示される
- ③ 設定重量に表示される 1、2、3 を **1kg** キーで切り換える
- ④ 設定終了後 **ON/OFF 電源 シャッター開** キーを長押し → 電源が OFF になり設定完了

- 1 : 小
2 : 中
3 : 大

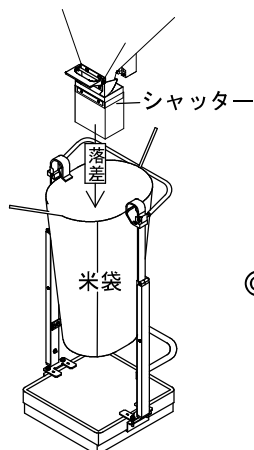
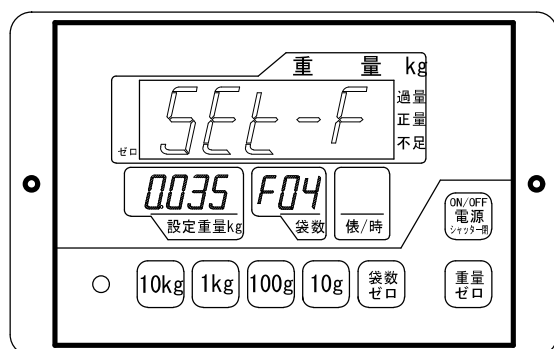


落差修正方法

NS35K

シャッターと米袋の間の落差が影響して
設定重量通りに米が計量できない場合は
落差の値を修正してください。

F04 落差設定 初期値 0.035



参考初期値		
項目	内容	初期設定
F01	定量前	1.0
F02	過量	0.08
F03	不足	0.02
◎ F04	落差	0.035
F05	自動計量	0
F06	ゼロ付近	1.00
F07	ON/OFFソノイト*	1

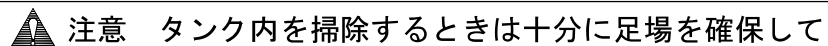
例：設定重量を30.60kgにしているのに
計量終了後の重量が30.58kgの場合
20g（0.020kg）少ない場合・・・落差を0.020減らす

- ①指示計表示がOFFの状態
- ②10kgキーを長押し→重量表示に SEt-F と表示される
- ③袋数ゼロキーを押し袋数表示を F04 に変更する
- ④10kg 1kg 100g 10g キーを使用して設定重量表示を 0.035→0.015 に変更する
- ⑤設定終了後ON/OFF電源シャッターキーを長押し→電源がOFFになり設定完了

例：設定重量を30.60kgにしているのに
計量終了後の重量が30.62kgの場合
20g（0.020kg）多い場合・・・落差を0.020増やす

- ①指示計表示がOFFの状態
- ②10kgキーを長押し→重量表示に SEt-F と表示される
- ③袋数ゼロキーを押し袋数表示を F04 に変更する
- ④10kg 1kg 100g 10g キーを使用して設定重量表示を 0.035→0.055 に変更する
- ⑤設定終了後ON/OFF電源シャッターキーを長押し→電源がOFFになり設定完了

作業後のお手入れについて



 **注意** タンク内を掃除するときは十分に足場を確保して
落下、転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

1、作業後の手入れ

- タンク内の残米を全て取り出してください。
(ジョーゴ及び増枠を外からたたきなどしてタンク内壁面の残米を落としてください。)

2、長時間使用しない場合の手入れ

- タンク内を掃除しビニール等で覆い隠しネズミ侵入防止処置をしてください。
(配線類のネズミのかじりに注意してください。)

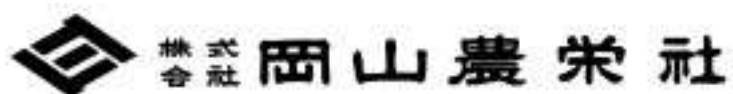
お客様メモ



不調診断

症状	原因	対処方法
シャッターが閉まらない。	1) シャッターから出ているコネクタが抜けている。	1) コネクタを確実に差し込んでください。
	2) ソレノイド、台秤、指示計が故障している。	2) 販売店へご相談してください。
ソレノイドで異常音がする。	ソレノイド吸着面にゴミが入っていたりサビている。	ゴミやサビを取り除いてください。
計量誤差がある。	1) 台秤が振動している。	1) 振動の原因を取り除いてください。
	2) アースが取れていない。	2) 指示計、台秤のアースを取ってください。
	3) シャッターが正常に作動していない。	3) 販売店へご相談してください。
重量表示が「0」にならない。	1) ゼロ点がずれている。	1) 「重量ゼロ」キーを押して重量を「0」にしてください。
	2) 台秤上に米がこぼれている	2) 台秤上の米を取り除いてください。
「袋数ゼロ」キーを押しても「0」表示しない。		「袋数ゼロ」キーを2秒間長押しすると「0」表示します。
「電源」キーを押しても電源がONにならない。	100V電源が供給されていない。	電源コードを確実に差し込んでください。
「電源」キーを押しても電源がOFFにならない。		「電源」キーを2秒間長押しすると電源がOFFになります。
「FFFFF」と表示する。	ひょう量オーバー	ひょう量(35kg)以下で使用してください。
「-----」と表示する。	マイナスオーバー	電源コードを抜いて、再度差し込み、電源を入れなおしてください。正常に戻らない時は販売店へご相談してください。
「-EEEE」と表示する。	パワーオンゼロ点マイナスオーバー	
「CCCCC」と表示する。	パワーオンゼロ点プラスオーバー	
「-----E」と表示する。	AD異常	
指示計が表示しない。 指示計の表示がおかしい。	指示計が故障している。	販売店へご相談してください。

製造販売元



ホームページ <http://noeisha.co.jp>

本社	〒703-8204 岡山市中区雄町394-3	TEL (086) 279-6100
本社営業所	〒703-8204 岡山市中区雄町394-3	TEL (086) 279-6100
北海道営業所	〒078-8275 旭川市工業団地5条3-3-1	TEL (0166) 36-5115
東北営業所	〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町4-2-44	TEL (022) 232-5609
関東営業所	〒372-0023 群馬県伊勢崎市粕川町1616	TEL (0270) 21-8127
九州営業所	〒862-0911 熊本市東区健軍3-45-13	TEL (096) 368-7407

お客様メモ

購入日	年	月	日
購入店名			